



2025 年 7 月 1 日

各 位

会 社 名 セレンディップ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 竹内 在
(コード：7318 グロース市場)
問合せ先 取 締 役 C F O 北村 隆史
(TEL. 052-222-5306)

**サーテックカリヤの株式の取得（子会社化）完了並びに
株式会社日本政策投資銀行及び商工中金キャピタル株式会社によるメザニン出資に関するお知らせ**

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長兼 CEO 竹内 在 以下、当社）は、2025 年 5 月 13 日付「サーテックカリヤの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」で公表した通り、2025 年 7 月 1 日付で、株式会社サーテックカリヤ（本社：愛知県刈谷市、代表取締役社長 竹内 弘一 以下、サーテックカリヤ）の株式を取得し連結子会社化が完了いたしましたので、お知らせいたします。

また、本件に関連して株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：地下 誠二 以下、DBJ）及び商工中金キャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：中西 秀一 以下、商工中金キャピタル）より、メザニンファイナンスによる出資（※1）を受けることとなりました。特に DBJ からの出資においては、特定投資業務（※2）が活用されております。

サーテックカリヤが有する優れた技術力と今後の成長可能性、並びに日本の中堅・中小製造業が抱える「事業承継問題」「生産性向上」といった課題に対する当社グループによる取り組みに対し、DBJ 及び商工中金キャピタルよりご評価いただいたことによるものです。

DBJ 及び商工中金キャピタルによるメザニン出資を通じて、財務健全性を確保しつつ柔軟な資金調達を実現し、サーテックカリヤのさらなる成長と、当社グループ全体としての企業価値最大化を図ってまいります。

※1 メザニンファイナンスとは、株式と負債の中間的な性格を持ち、柔軟な資金調達を可能とする手法です。

※2 民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化及び我が国企業の競争力の強化を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務です。

記

1. 会社概要

株式会社サーテックカリヤ

本社 愛知県刈谷市神明町 6 丁目 100 番地

グループ会社 国内 2 社及び海外 8 社の計 10 社（詳細は 2025 年 5 月 13 日付開示資料参照）

代表者 代表取締役社長 竹内 弘一

事業内容 めっき・表面処理加工業

設立 1954 年 2 月

URL <https://www.surteckariya.jp/home/>

株式会社日本政策投資銀行

本社 東京都千代田区大手町 1 丁目 9 番 6 号
代表者 代表取締役社長 地下 誠二
事業内容 各種投資・融資に関する業務
設立 2008 年 10 月
資本金 1 兆 4 億円
URL <https://www.dbj.jp/>

商工中金キャピタル株式会社

本社 東京都中央区八重洲 2 丁目 10 番 17 号 商工中金本店内
代表者 代表取締役 中西 秀一
事業内容 各種投資に関する業務
設立 2023 年 8 月
資本金 1 億円
URL <https://www.shochu-capital.co.jp/>

セレンディップ・ホールディングス株式会社

本社 愛知県名古屋市中区錦一丁目 5 番 11 号
代表者 代表取締役社長兼 CEO 竹内 在
事業内容 経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング
設立 2006 年 8 月
資本金 11 億 42 百万円
URL <https://www.serendip-c.com/>

2. 株式会社サーテックカリヤ 新経営体制

代表取締役社長 竹内 弘一（留任）
専務取締役 酒井 一繁（当社コーポレート企画本部 部長）
常務取締役 大橋 享（留任）
取締役 萱野 拓治（留任）
取締役 竹内 在（当社 代表取締役社長兼 CEO）
取締役 北村 隆史（当社 取締役 CFO）
監査役 西山 一彦（当社 取締役（監査等委員））

3. 今後の見通し

本株式取得に伴い、サーテックカリヤは2025年9月30日をみなし取得日として当社の連結子会社となります。
なお、本株式取得に伴う 2026 年 3 月期の通期連結業績に与える影響については、判明次第速やかに開示致します。

以 上

サーテックカリヤの子会社化 について(完了)



**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード 7318

2025年7月1日

各種メディアに多数掲載いただきました！

- ・ サーテックカリヤ子会社化について掲載いただいたメディア一覧

掲載日	媒体名	タイトル	リンク
2025/5/13	日本経済新聞	セレンディップHD、愛知・刈谷の金属表面処理会社を買収	https://www.nikkei.com/article/DGXZQOFD13A8R0T10C25A5000000/?msockid=3801fc8b9840696a11b7e93d99f768a4
2025/5/13	中日新聞	自動車部品製造のサーテックカリヤを買収 セレンディップ、過去最大規模	https://biz.chunichi.co.jp/news/article/10/106049/
2025/5/13	事業継承通信	セレンディップ・ホールディングスが表面処理加工の「サーテックカリヤ」を子会社化	https://shoukeinews.jp/media/news/serendip20250513/
2025/5/14	中部経済新聞	サーテックカリヤ子会社化 セレンディップHD 自動車分野で相乗効果狙う	https://www.chukei-news.co.jp/news/2025/05/14/OK0002505140101_02/
2025/5/14	財経新聞	セレンディップ・ホールディングス サーテックカリヤの株式取得（子会社化）	https://zaikei.co.jp/article/20250514/810642.html
2025/5/14	日刊工業新聞	セレンディップHD、愛知の表面処理を買収 国内外で顧客開拓	https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00748583

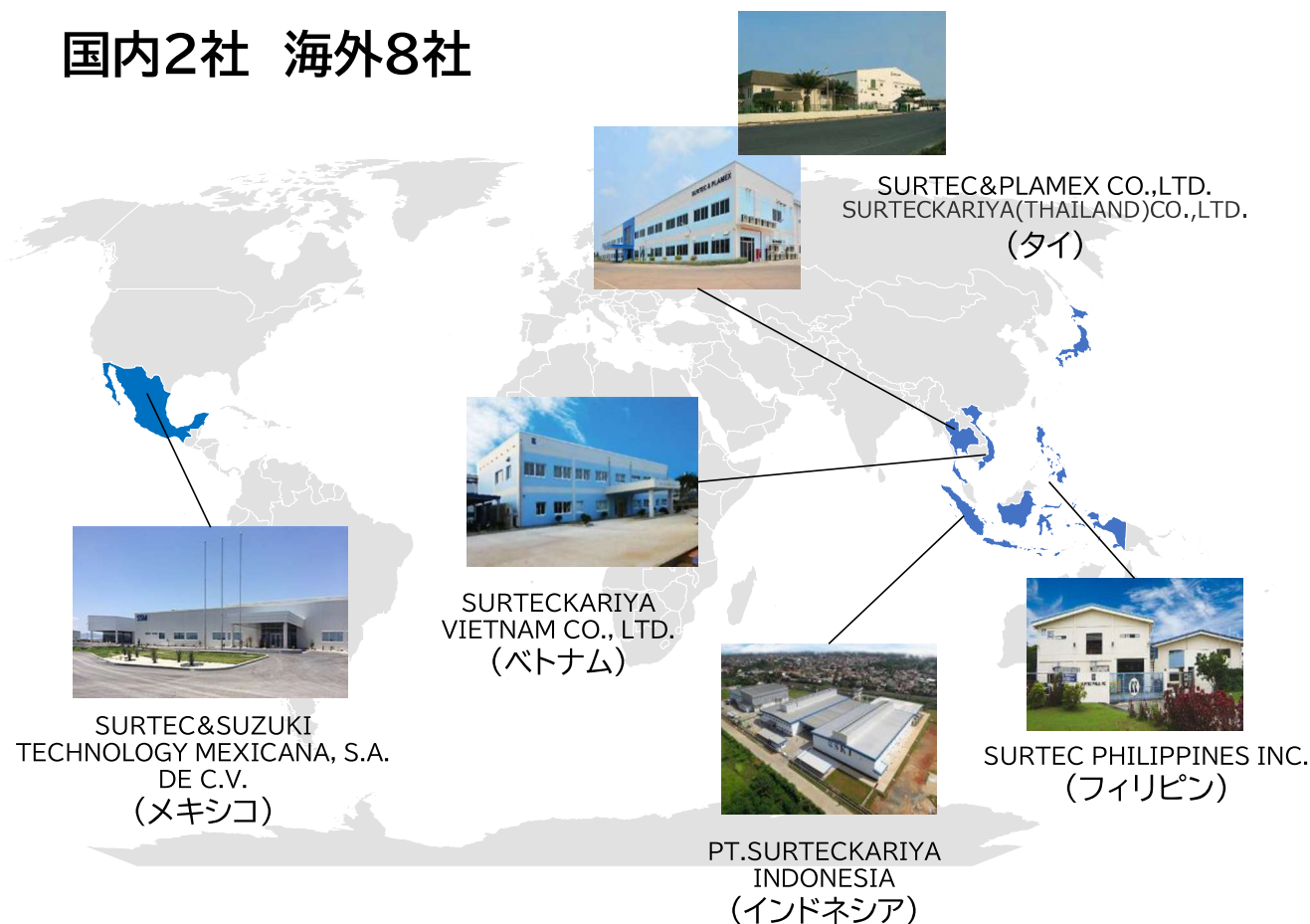
サーテックカリヤの事業の強み

2025年5月13日掲載済

- 成長が期待される新興国を中心とした顧客拡大とともに、今後大きな成長が見込まれる分野への拡大を図る

サーテックカリヤのグローバル展開

国内2社 海外8社

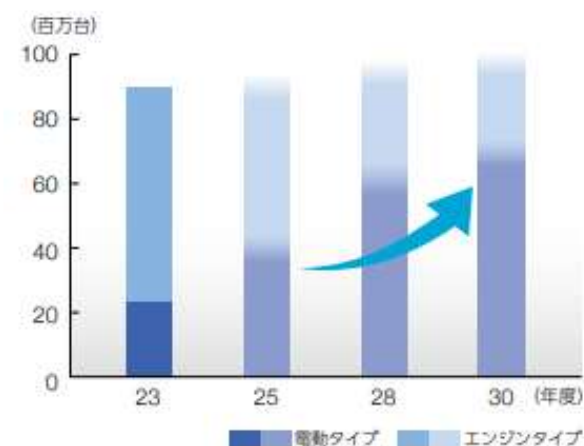


提供元: Bing
© Australian Bureau of Statistics, GeoNames, Geospatial Data Edit, Microsoft, Navinfo, Open Places, OpenStreetMap, Overture Maps Foundation, TomTom, Zenrin

需要が拡大する部品へのめっき加工

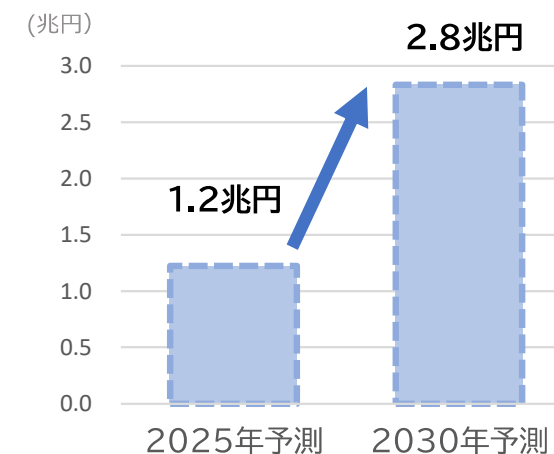
- 電動コンプレッサーの構成部品やインバータに用いられるパワー半導体の冷却部品にはめっき加工が施されているが、自動車の電動化に伴い今後大きな需要の拡大が見込まれる。
- 上記以外にも、自動車の電動化部品に大電流を効率的に分配・伝送する「バスバー」部品など新規開拓も見込まれる。

コンプレッサーの機種別需要予測*1



*1 : Source : 豊田自動織機レポート2024

自動車用インバータ世界需要予測



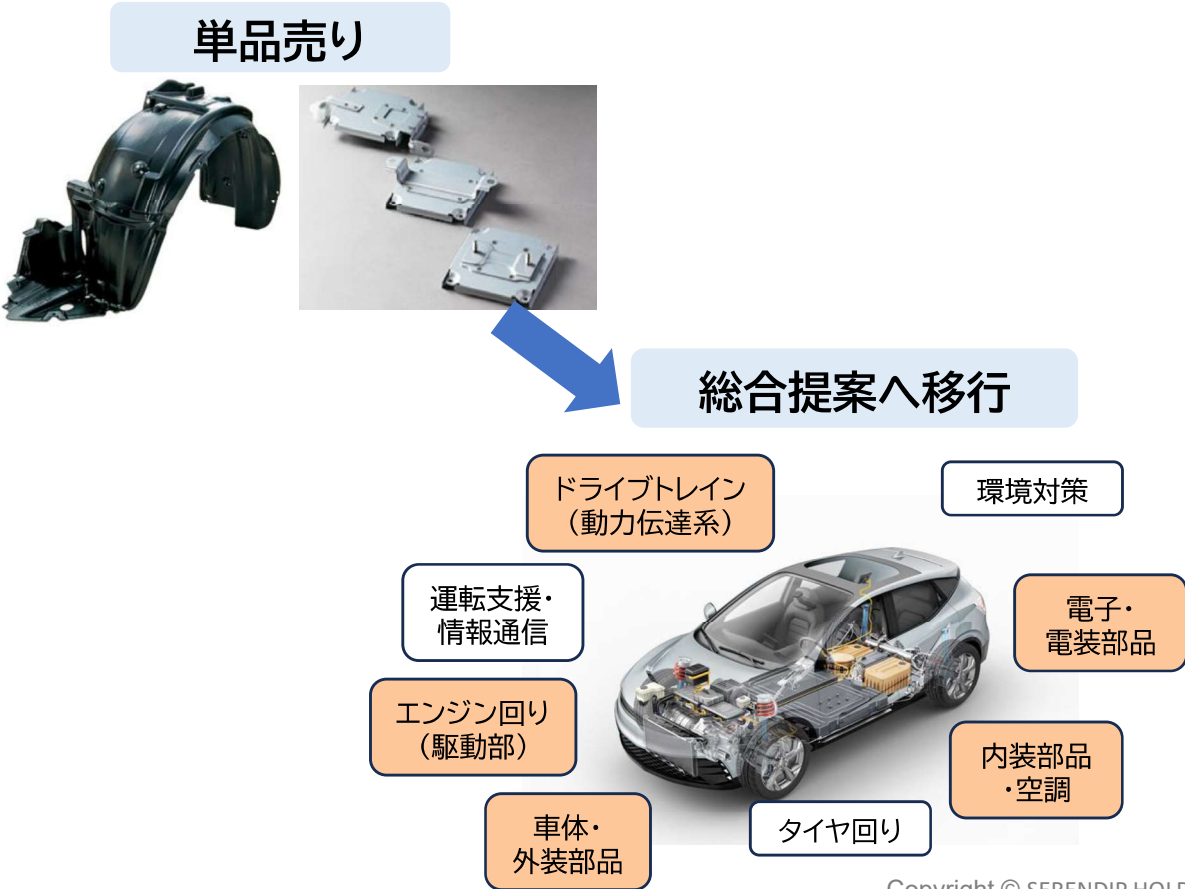
Source : 当社予測
(為替 : 141円/ドル)

セレンディップ・チャレンジ500におけるサーテックカリヤの位置づけ

2025年5月13日掲載済

- ・ ロールアップ型のM&Aで、当社グループは単品売りから機能・技術を軸に総合提案できる体制に進化

“めっき・表面処理”の総合メーカー
が加わり、提案領域をさらに拡充



機能・技術を軸としたロールアップ型
の事業承継M&Aを志向

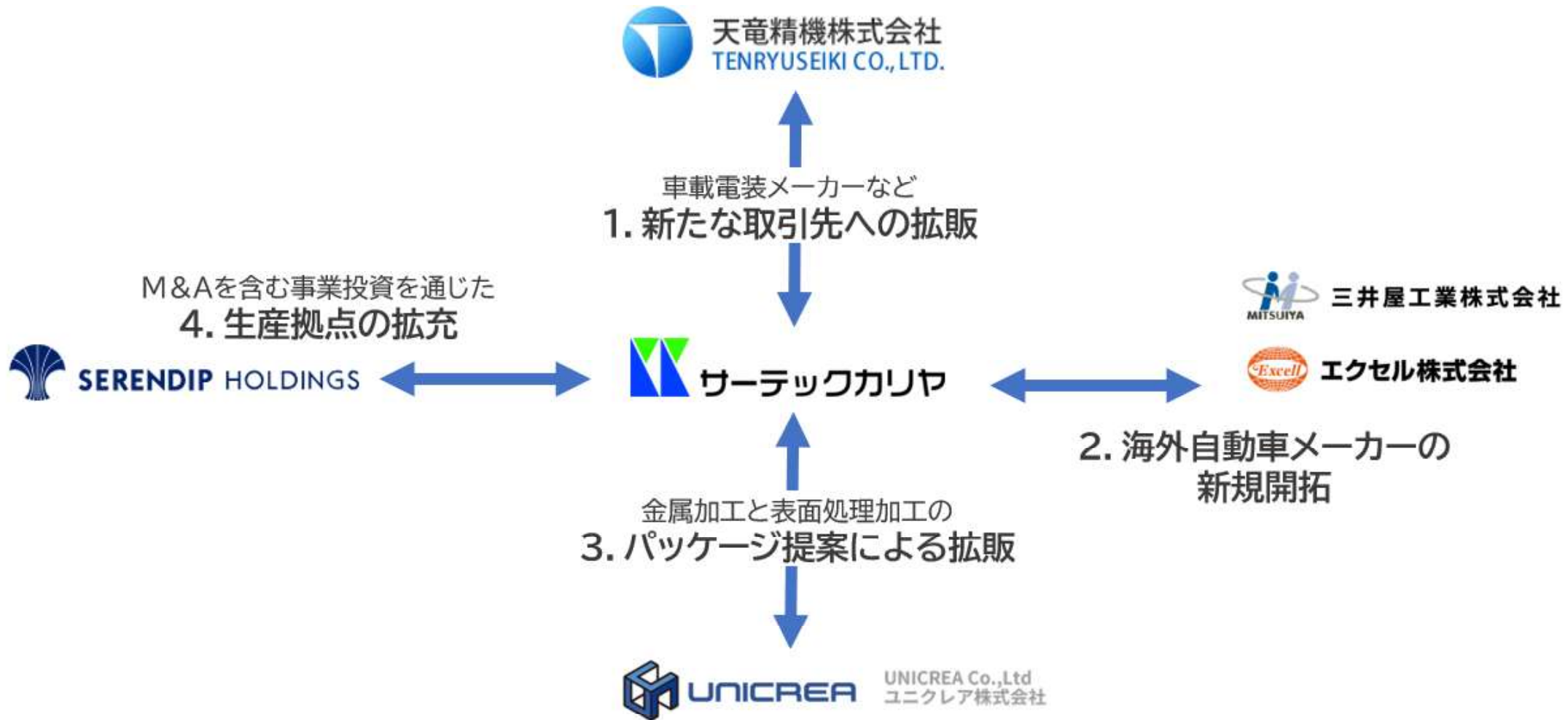
機能・技術	金属プレス加工	ユニクレア (佐藤工業×イワキ)		2025年4月合併
	樹脂成型	三井屋工業	エクセル・グループ	
	デザイン	アペックス	トライシス	
	表面加工など	白金鍍金	サーテック カリヤ	
		中核会社		
グループ会社				

想定される事業シナジー

2025年5月13日掲載済

- ホールディングス・グループ会社それぞれの強みを活かして事業拡大を図る

グループ会社と連携した4つの事業拡大戦略



想定される事業シナジーと経営シナジー

2025年5月13日掲載済

- ・ ホールディングス・グループ会社の自動化・省人化のノウハウをグループ内に展開し、生産性向上を目指す
- ・ 当社より経営人材をチームで派遣し、強固な経営基盤を構築

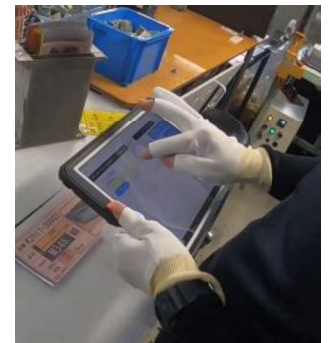
生産性の向上

天竜精機(自動化技術を駆使した自動機の企画製造)・コンサルティング事業部(協働ロボット、生産実績管理ツール HiConnexの導入支援)との連携による自動化・省人化の推進による生産性の向上

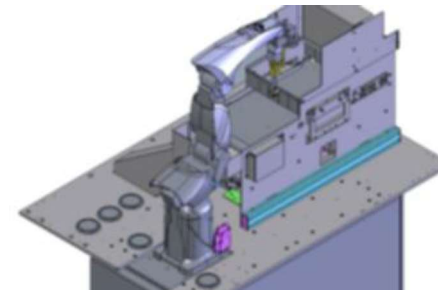
省人化



デジタル化



自動化



経営の強化

1. プロ経営者を常駐で派遣
当社のビジョンと経営変革計画を共有し、標準化されたマネジメントツールを活用して経営を推進
2. テーマに応じて、営業、製造、管理(経理財務、人事、ITなど)の専門家で構成されるプロジェクトチームを立ち上げし支援

当社より派遣 サーテックキャリア取締役役に就任予定

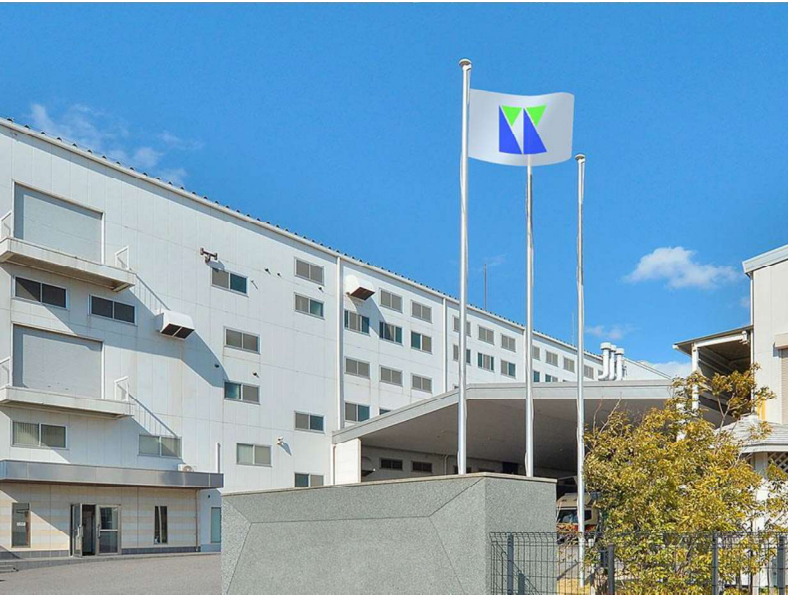


酒井 一繁

早稲田大学卒後、トヨタ自動車(株)にて米国及び中国の事業戦略などを担当。
米国公認会計士。経営学修士号取得。

株式会社サーテックカリヤ 概要

2025年5月13日掲載済



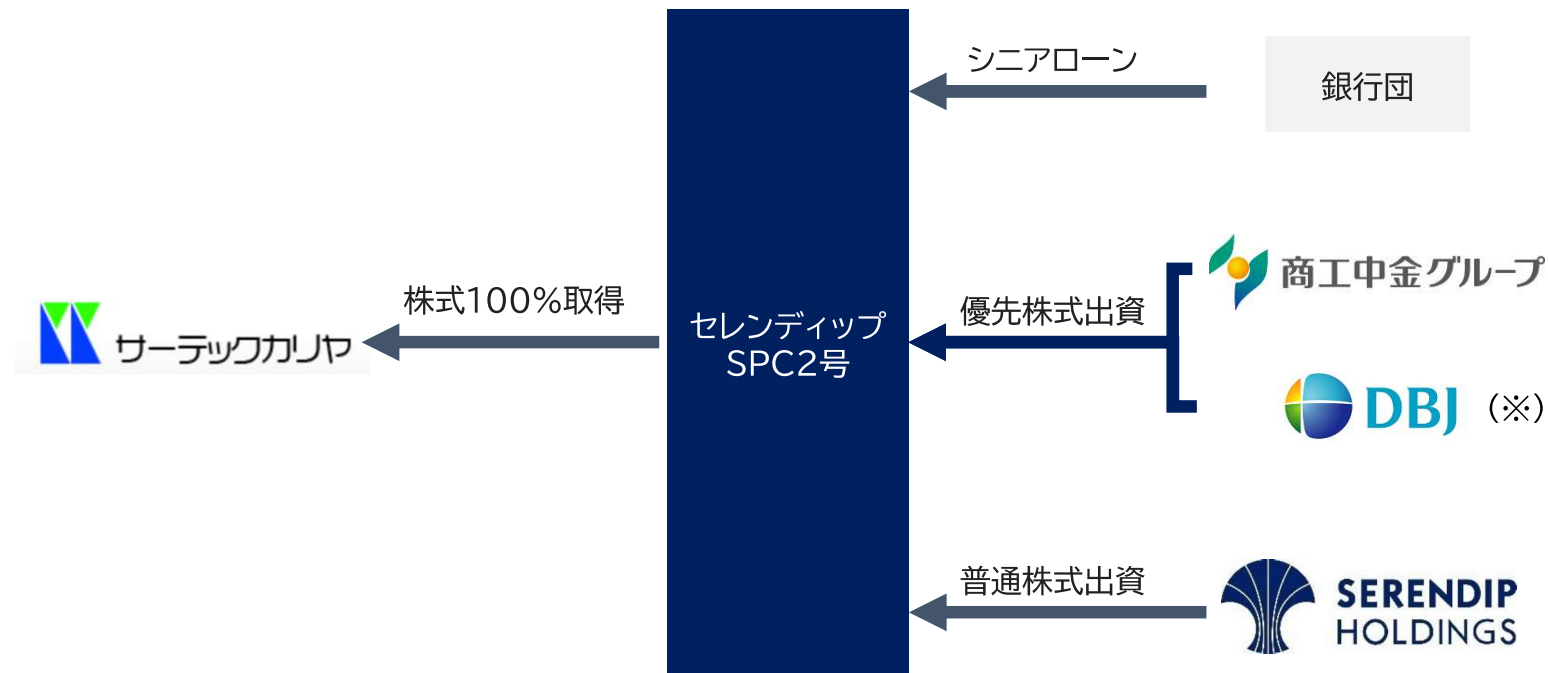
創業75年を誇る自動車部品の無電解ニッケル・硬質クロムめっき加工・アルマイト加工などを主力とした日本最大級の表面処理カンパニー。自動車産業を中心に、ものづくりに不可欠なめっき・表面処理分野の総合メーカーとして、幅広い加工技術とグローバルな生産体制を有している。

株式会社サーテックカリヤの概要	
代表者	代表取締役社長 竹内 弘一
本店所在地	愛知県刈谷市神明町6-100
設立	1954年2月(創業1950年6月)
従業員数	単体783名、連結3,004名(2024年12月末)
売上高	単体約128億円、連結約216億円(2024年12月期 簡易計算)
事業内容	めっき加工を主とした表面処理の総合メーカー
主要取引先	株式会社デンソー、株式会社豊田自動織機、京セラ株式会社、株式会社アドヴィックス、株式会社アイシン 等
関連会社	S&P(タイ)、SKT(タイ)、SKI(インドネシア)、SPI(フィリピン)、SKV(ベトナム)、SSM(メキシコ)その他3社

メザニン出資を通じて、財務健全性を確保しつつ柔軟な資金調達を実現

- 国からの一部出資(産投出資)を活用したメザニンファイナンスを実施

《ファイナンススキーム図》



(※)株式会社日本政策投資銀行(DBJ)からの出資に関しては、特定投資業務(民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化及び我が国企業の競争力の強化を図るため、国からの一部出資(産投出資)を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務)が活用されております。

Disclaimer

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。